

World Oceans Day

DWSは世界海洋デーに賛同し、持続可能な海を目指し活動するNGOヘルシー・シーズを支援しています。

2021年7月12日
ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

世界海洋デー(World Oceans Day)とは、2009年に国際連合によって制定された国際デーで、毎年6月8日です。海洋は、地球の表面積の約7割を占め、食糧となる水産資源物の確保やすべての生物の生存において不可欠なものです。また、気候にも影響を与えるなど、生物圏の重要な一部を成しています。気候変動や海洋汚染、水産物の乱獲、魚の生息環境の悪化など、海洋がさまざまな脅威にさらされている今、世界海洋デーは国際社会が直面している課題について、世界的な認識を高める機会となっています。

DWSは海洋保護強化に向けた取り組みとして、海洋にあるプラスチック製ロープや「ゴーストネット」と言われる漂流漁網の回収作業およびリサイクル活動をするNPOヘルシー・シーズ(Healthy Seas)を支援しています。

MAKO号の出航準備が整う

新たな取り組みで、より大きな夢を

昨年DWSは、ゴーストフィッシングと呼ばれるゴーストネット等による意図しない海洋生物の捕獲を減らすためのヘルシー・シーズの取り組みを後押しするため、キャンペーン企画やゴーストネットの回収作業、寄付など、さまざまな支援をしてきました。これらは非常に大きな成果を挙げましたが、さらにもう一步踏み込んだ支援をしたいと考え、ヘルシー・シーズがゴーストネット回収船第一号を購入できるよう、一度にまとまった額の寄付を行いました。

MAKO号の導入は、ヘルシー・シーズがより効率的に活動できるようになり回収作業の回数を大幅に増やせるだけでなく、ヘルシー・シーズの認知度を高め、積極的に活動を広げていくための礎となるものです。目標は、問題が水面下にとどまるのを防ぎ、ゴーストネットによって犠牲になる海洋生物が多くいるという事実を表面化させることです。

DWSの寄付により購入されたMAKO号



MAKO号 - ゴーストフィッシングと戦うサメ

船名を変えることは縁起が悪いとされているため、MAKOという名前は、前オーナーから引き継いだものです。しかしこの名前は、ゴーストフィッシングによる最大の被害者であるサメの一種アオザメを意味しており、ゴーストネット回収船として相応しいものとなりました。

調査¹によると、サメのような海の上位捕食者でさえ、人間が出すプラスチック廃棄物に絡まってしまうと抜け出すことができないことが明らかになっています。1,000匹以上のサメやエイがプラスチック廃棄物やゴーストネットに絡まっているのが発見されており、実際数はそれをはるかに上回ると予想されています。

アオザメを意味するMAKOの名を冠したこの船が、ゴーストフィッシングによる負の連鎖を断ち切り、いかなる生物も犠牲になることがないよう、最善を尽くしてくれることを期待しています。

50%

北太平洋にあるプラスチック廃棄物のうち
ゴーストネットが占める割合²

600-800年

海洋に放置された漁網が
自然分解されるまでかかる年月²

3分の2以上

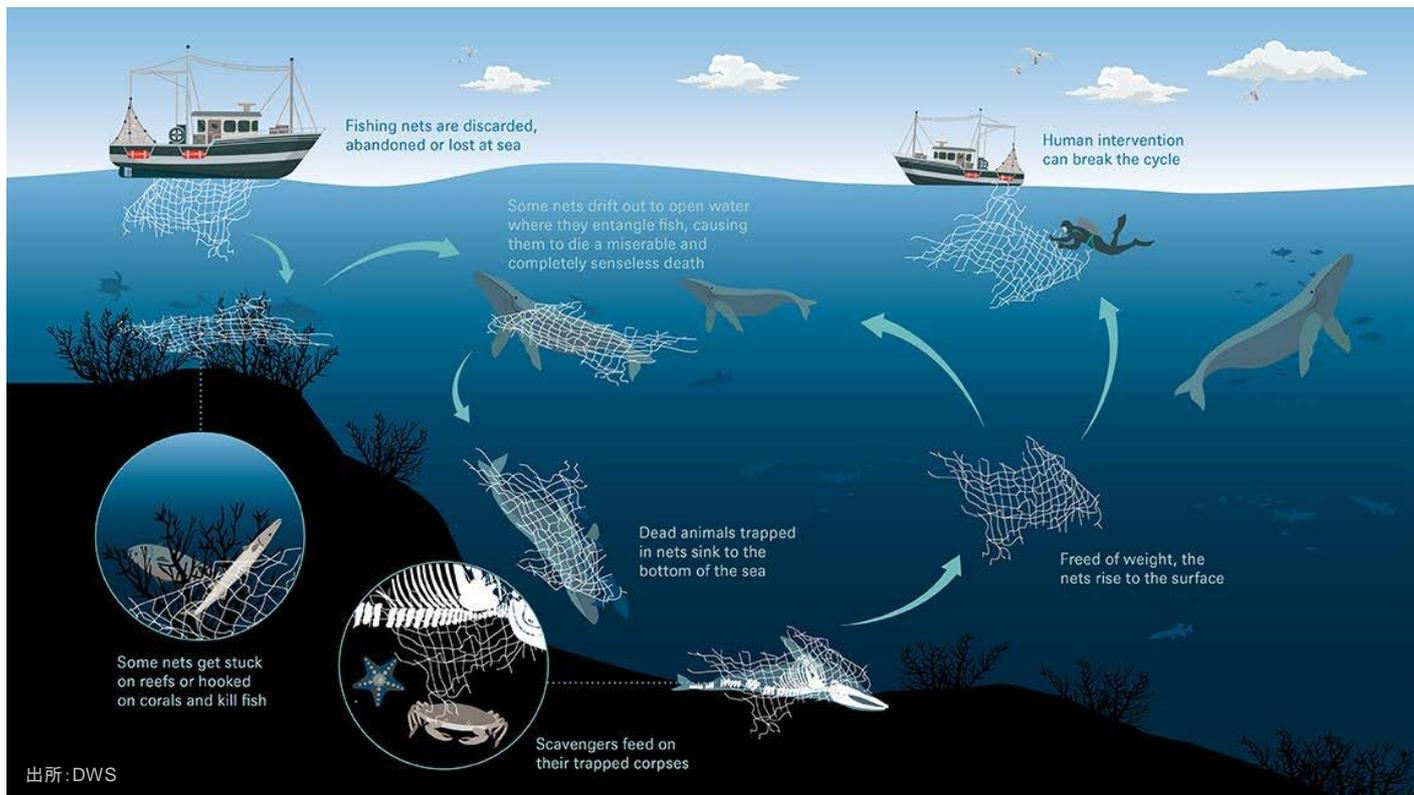
北東大西洋に生息する代表的な魚種の胃の中に
マイクロプラスチックが入っている割合²

¹ 出所: Parton KJ, Galloway TS, Godley BJ (2019) Global review of shark and ray entanglement in anthropogenic marine debris. Endang Species Res 39:173-190. <https://doi.org/10.3354/esr00964>

² 出所: 世界自然保護基金(WWF) <https://www.wwf.de/themen-projekte/meere-kuesten/plastik/geisternetze/>

ゴーストネット・サイクル

ゴーストネットは、魚網の廃棄、放棄または海洋での紛失により、サンゴ礁などに絡まりそこに住む魚たちをも巻き込みます。また、一部の魚網は外洋を漂い、クジラなどの身体にまとわりつきその命を奪います。海底に沈んだ死骸は腐食生物により食べられ、重さから開放された魚網が海上に浮上します。そこで人間が介入し魚網を回収することで、ようやくこの連鎖を断ち切ることができるのです。



DWS支援によるゴーストネット引き揚げ作業

2020年9月20日、クロアチアのツレス島周辺においてヘルシー・シーズ主導で実施した作業では、約200メートルの延縄をはじめ、200メートル以上の刺し網、そして網かごなどがダイバーによって引き揚げられました。この作業には、5人のボランティアダイバーと、環境プロジェクトへの関心を高めるために自転車で欧州を旅している23歳の学生が参加しました。



ダイバーによる
ゴーストネット引き揚げ作業の様子

DWSの海洋生物を守る 取り組みの詳細はこちら



<https://www.dws.com/en-jp/ghostnets/>

※DWSのグローバルサイト(英語)です。

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社は、DWSグループの日本における拠点であり、投資信託ビジネス・機関投資家向け運用ソリューションの提供における長年の経験、ノウハウおよび実績を有します。グローバルな運用体制と独自の洞察力を駆使した質の高いサービスをご提供するとともに、日本市場の資産運用ニーズに的確にお応えすることを目指します。

【ご留意事項】

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の投資商品の推奨や投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにDWSが作成し、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が翻訳して提供しておりますが、正確性・完全性についてDWSおよびドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が責任を負うものではありません。当資料記載の情報および見通しは、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。市場や経済に関するデータや過去の運用実績は記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。投資にはリスクが伴います。価格変動等により、当初投資元本を割り込むことがあります。当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として記載したものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。当資料に関する著作権はすべてドイチェ・アセット・マネジメント株式会社に属しますので、当社に無断で資料の複製、転用等を行うことはできません。

M-210709-3